

教育推進プラン・江東（第2期）

テーマ2 自分らしさ

4

個に応じた教育



テーマ2 自分らしさ

4 個に応じた教育 (24)特別な支援が必要な子どもの教育

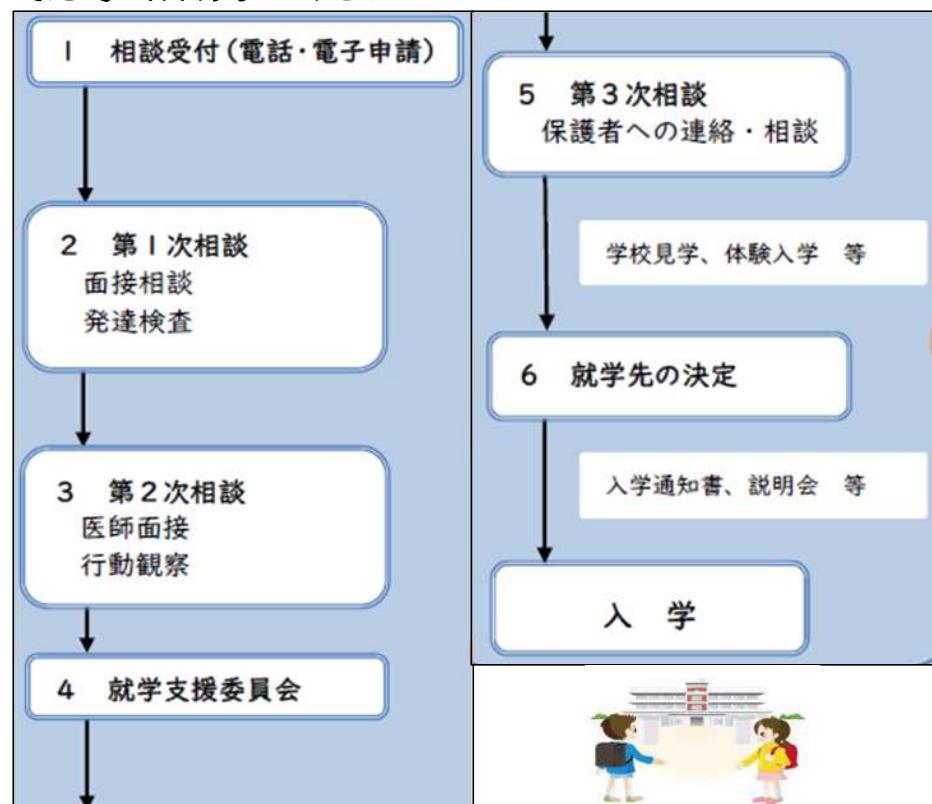
就学相談の実施

就学相談件数 (転学相談含む)

R4	R5	R6
485件	522件	571件



就学相談の流れ



テーマ2 自分らしさ

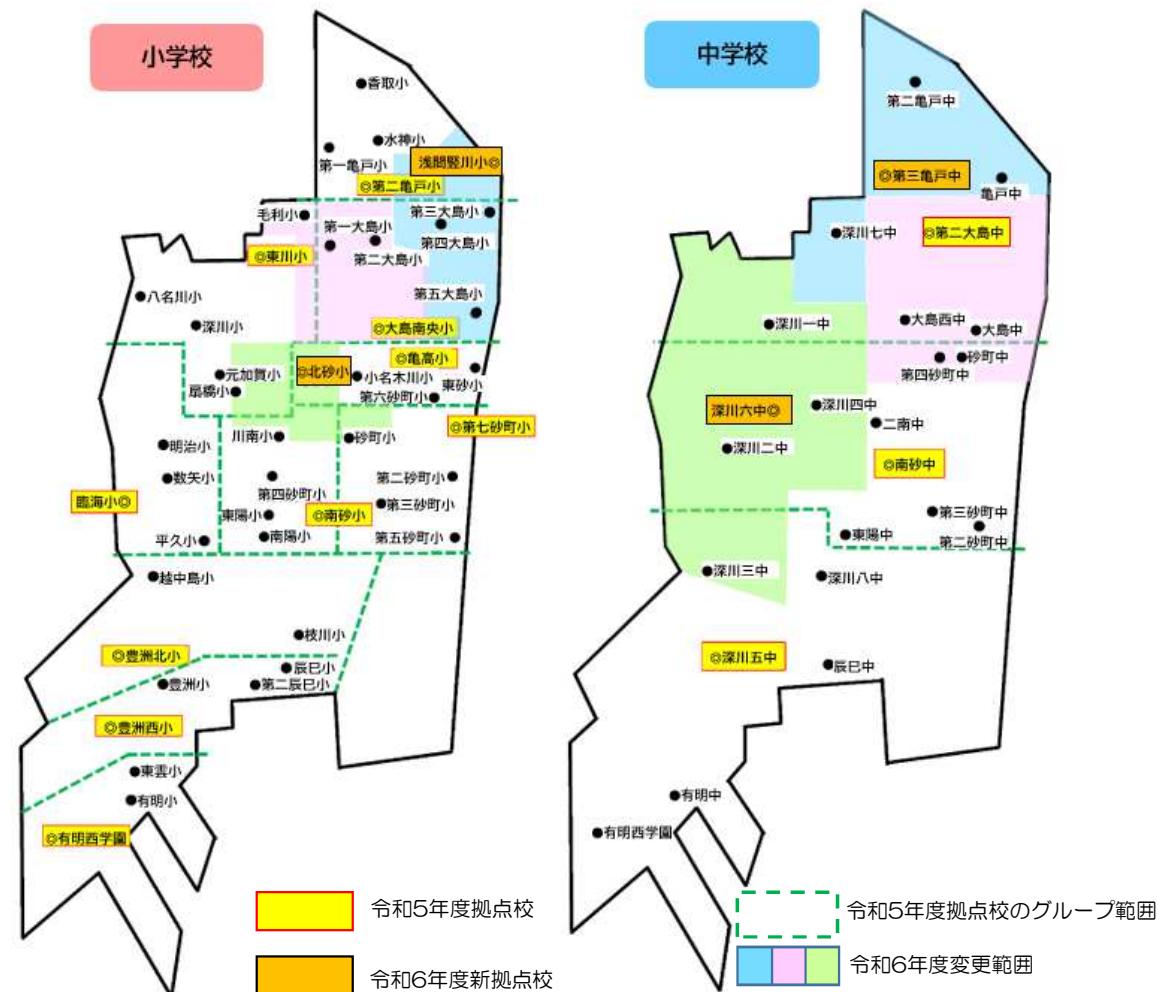
4 個に応じた教育 (24)特別な支援が必要な子どもの教育

特別支援教室拠点校の増設

特別支援教室拠点校数

小学校	中学校
10校	3校
12校	5校

- 巡回校における支援の充実



特別支援教室拠点校の増設



テーマ2 自分らしさ

4 個に応じた教育

(24)特別な支援が必要な子どもの教育

学習支援員の配置

配置対象	主な業務内容	配置時数
小・義(前) 通常の学級	ASD、ADHD、LD、選択性かん默等およびその傾向がある児童に対する学習活動等の支援。	1校 週35H
中・義(後) 通常の学級	ASD、ADHD、LD、選択性かん默等およびその傾向があり、個別的支援を必要とする生徒に対する学習活動等の支援。	1校 週24H
小・中・義 通常の学級	肢体不自由や弱視・難聴等の実態から個別的支援が必要な児童・生徒に対する日常生活動作等の介助。	対象児童・生徒 1人につき1人
小中 特別支援学級	知的障害(知的固定学級)、ASDまたは選択性かん默(情緒固定学級)の実態から個別的支援が必要な児童・生徒に対する学習活動等の支援。	1学級につき 1人分 + 児童・生徒数に 応じて加配
幼稚園	知的障害や発達障害、肢体不自由等により、特別な支援が必要な幼児に対する支援。	各園の規模等に 応じて 1人～10人配置

特別支援教育アドバイザーによる巡回訪問

校内における特別支援教育体制の改善・充実、環境整備等を図る。



全校に巡回訪問



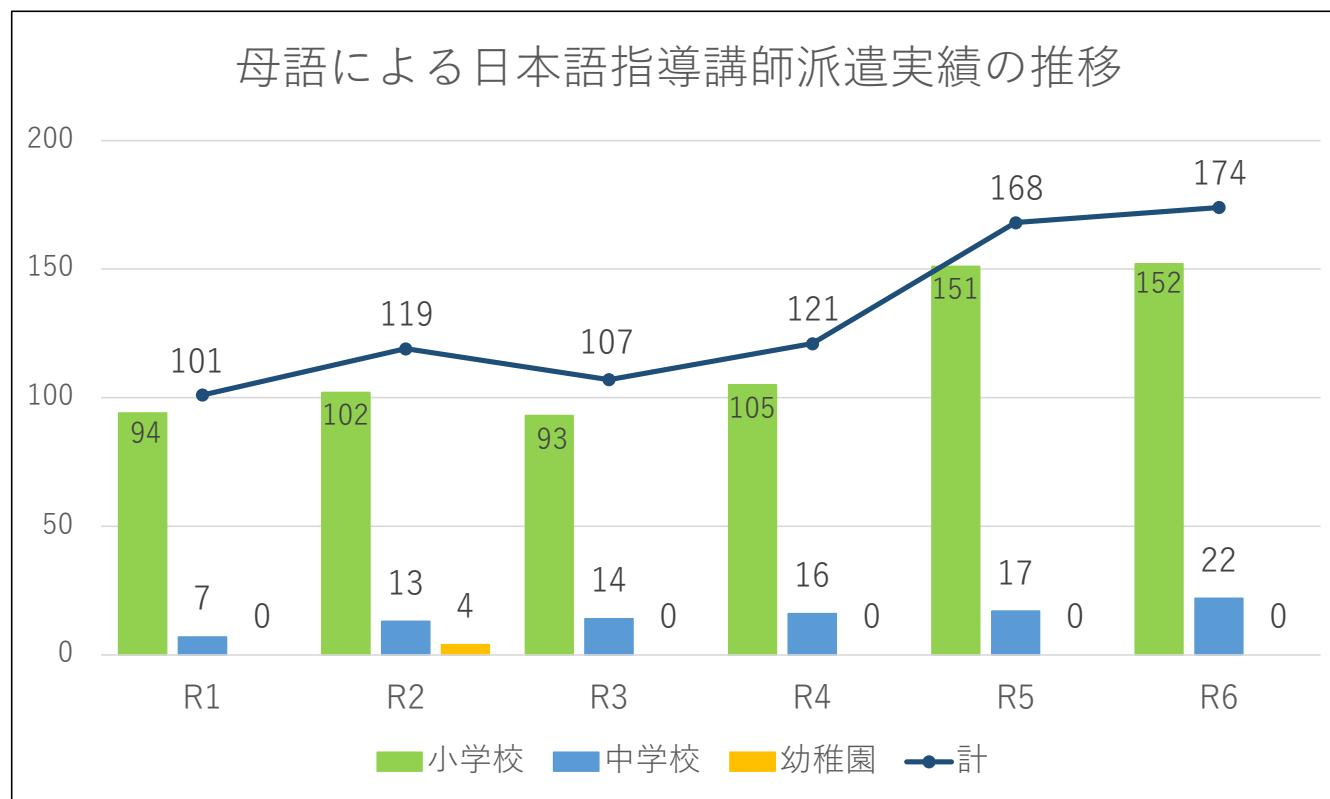
希望する学校へ、要請訪問

- 特別な支援が必要な児童・生徒の行動観察
- 特別支援教室の授業観察
- 校内委員会の運営に関する助言



テーマ2 自分らしさ 4 個に応じた教育 (25)日本語指導が必要な子どもの支援

母語による指導が可能な講師を派遣



R 6

対象言語	人数	割合
中国	123人	70.7%
英語	26人	14.9%
ネパール	13人	7.5%
ベトナム	3人	1.7%
ロシア	2人	1.1%
スペイン	2人	1.1%
ヒンドゥー	2人	1.1%
タガログ	1人	0.6%
韓国	1人	0.6%
タイ	1人	0.6%
	174人	100.0%

今後の方針

● 多様なニーズに応じたきめ細かい支援

- ・インクルーシブ教育を推進するための人的支援の充実
- ・日本語指導が必要な児童・生徒への支援ツール

● 特別な支援が必要な子どもの教育の充実

- ・各学校での支援体制の強化

教育推進プラン・江東（第2期）

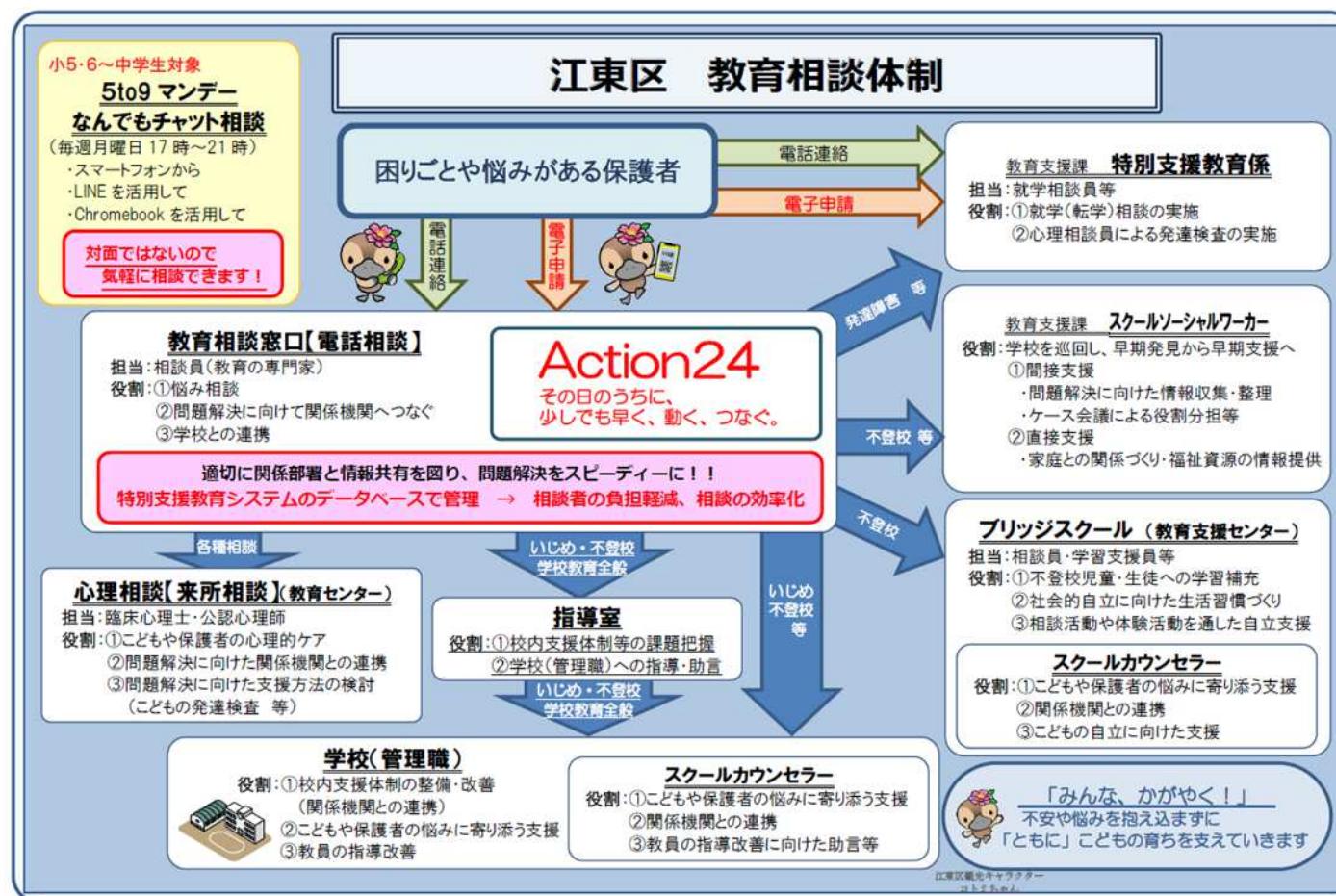
テーマ2 自分らしさ

5

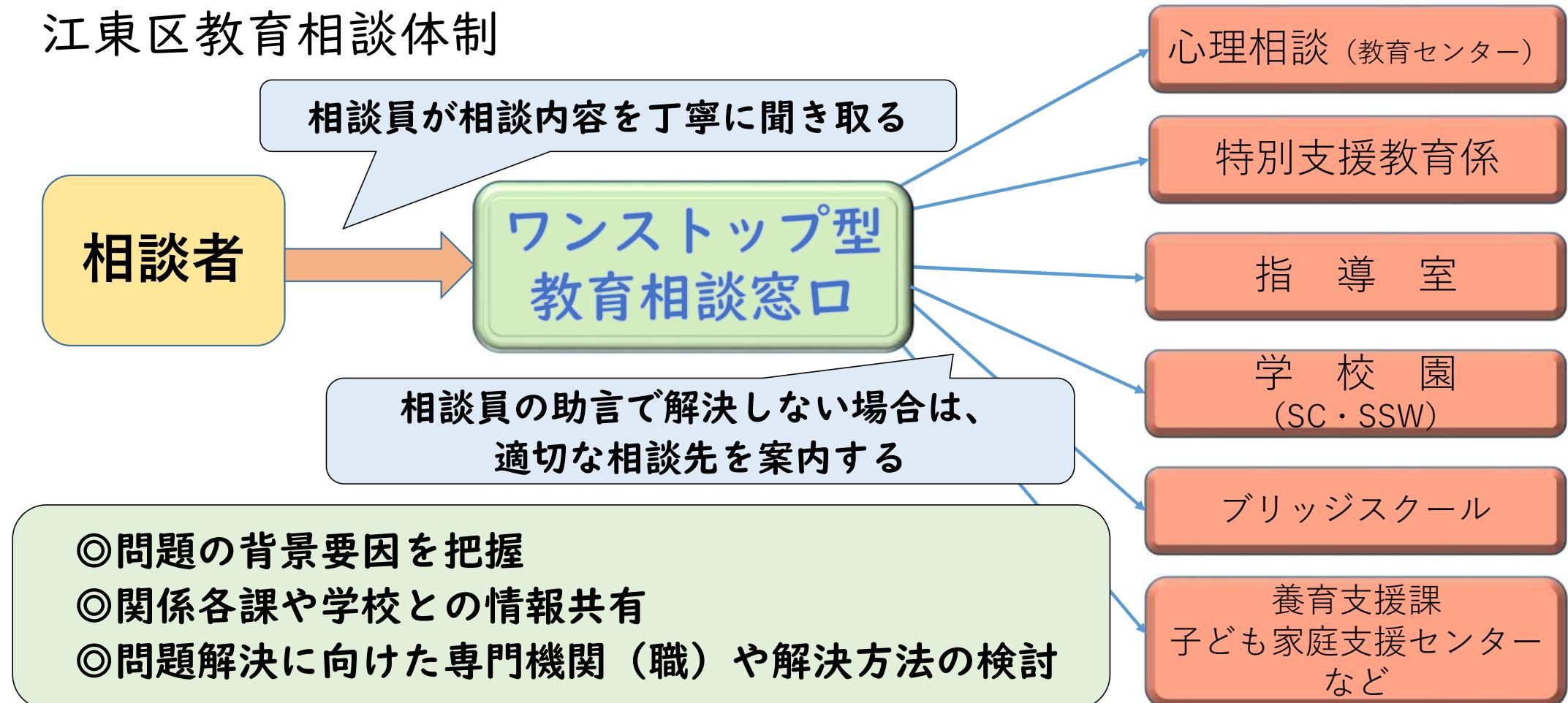
丁寧な相談



江東区教育相談体制



江東区教育相談体制



江東区のすべてのこどもたちが、「みんな、かがやく！」ために
こどもたちのSOSに、少しでも早く気付き、
少しでも早く対応する、「Action24」を宣言します！

- <学校では>・「みんな、かがやく！」教育を進めるとともに、こどもたちの様子を丁寧に見ます
 - ・こどもたちの状況について、いち早く共有し、組織的に対応します
 - ・こどもたちにSOSの出し方、相談することについて教えます
- <家庭では>・お子様のことで、気になることがあれば学校、教育センター等にご相談ください
- <地域では>・地域でのこどもたちのことで、気になることがあればご連絡ください
- <教育委員会では>・先生方がこどもたちとの時間を確保できるよう働き方改革を進めます
 - ・こどもたちを真ん中にして、学校を中心に、「Action24」が徹底できるようにします



「with… ~ともに~」

その日のうちに、
少しでも早く、動く、つなぐ。

Action24

江東区教育委員会

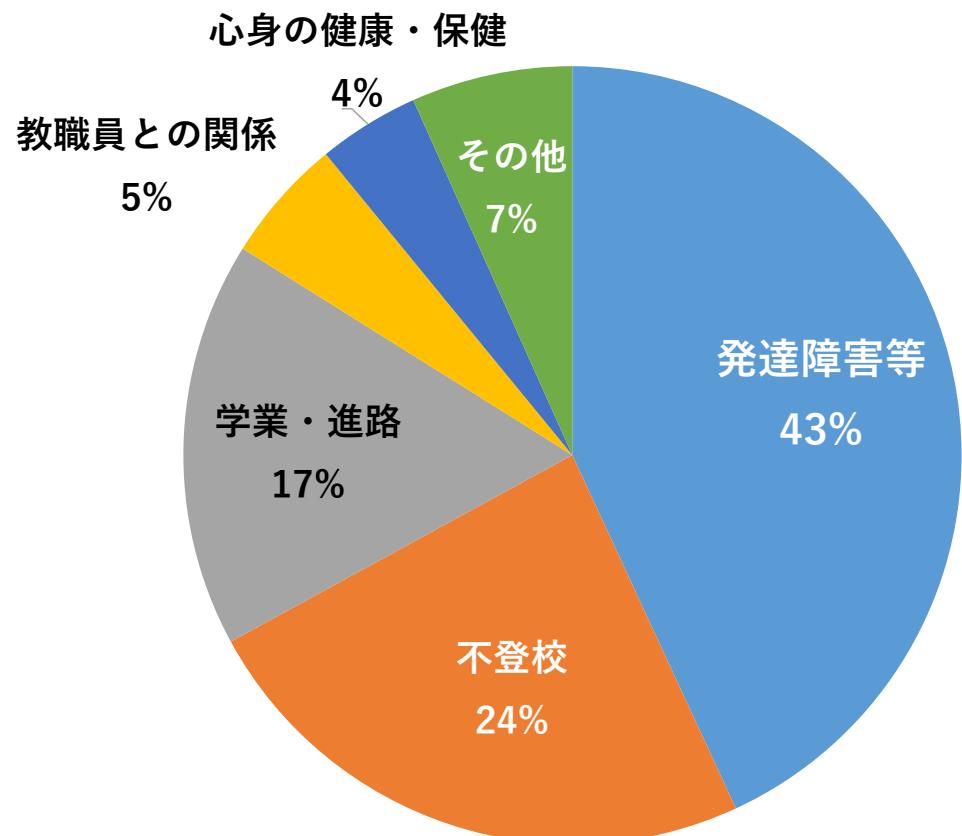
テーマ2 自分らしさ

5

丁寧な相談 (26)ワンストップ型教育相談



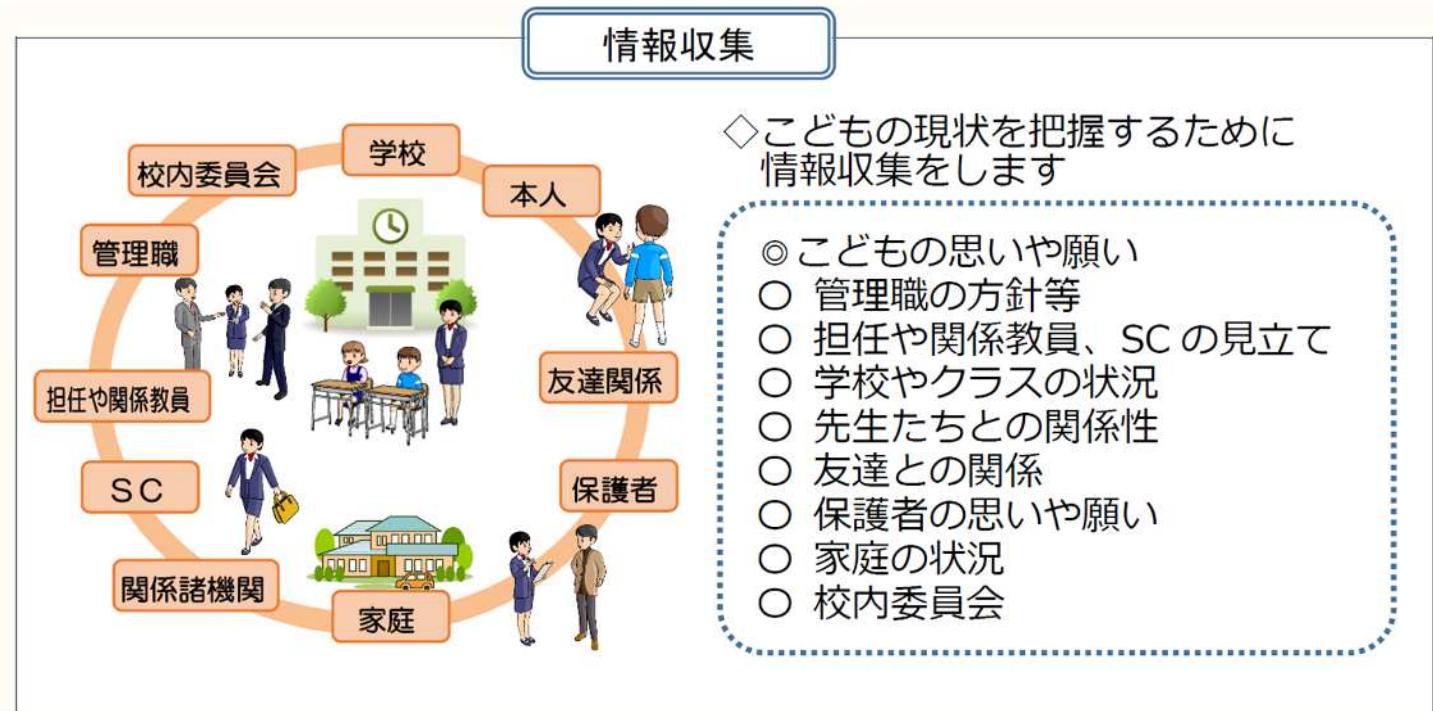
教育相談窓口(電話相談) 主訴別割合



スクールソーシャルワーカーの活用

【巡回訪問型】

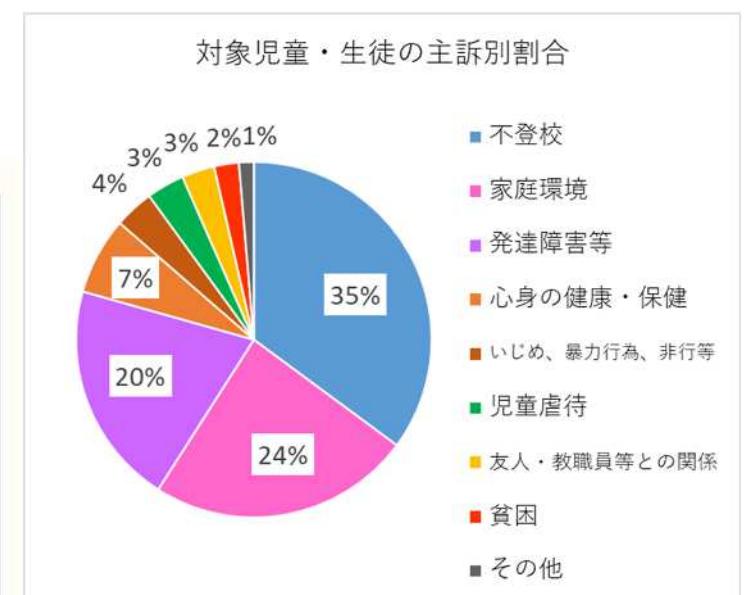
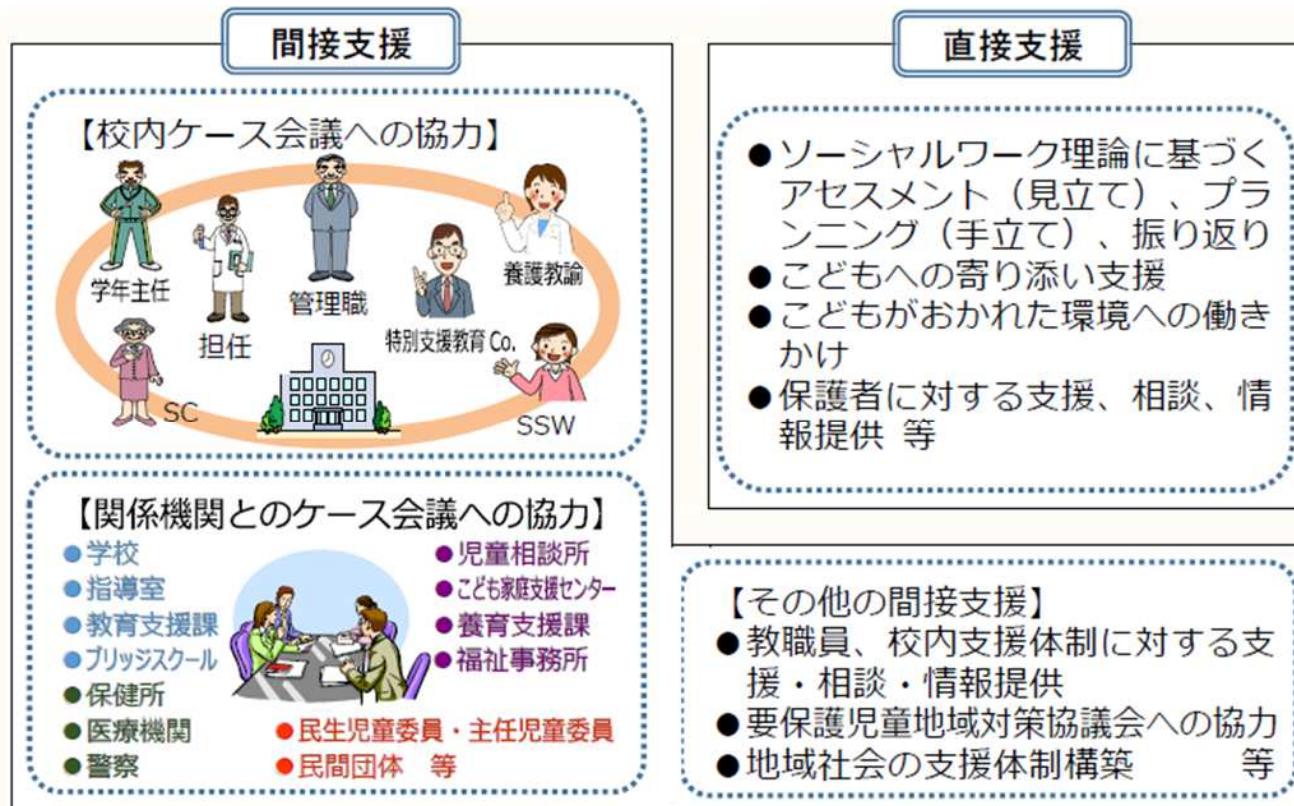
週1回程度、担当するSSWが学校を訪問し、授業観察等を行い、児童・生徒を取り巻く環境に係るアセスメントをする。



テーマ2 自分らしさ

丁寧な相談 (27)スクールソーシャルワーカー等の活用

スクールソーシャルワーカーの活用



令和6年度
校内委員会等 参加回数

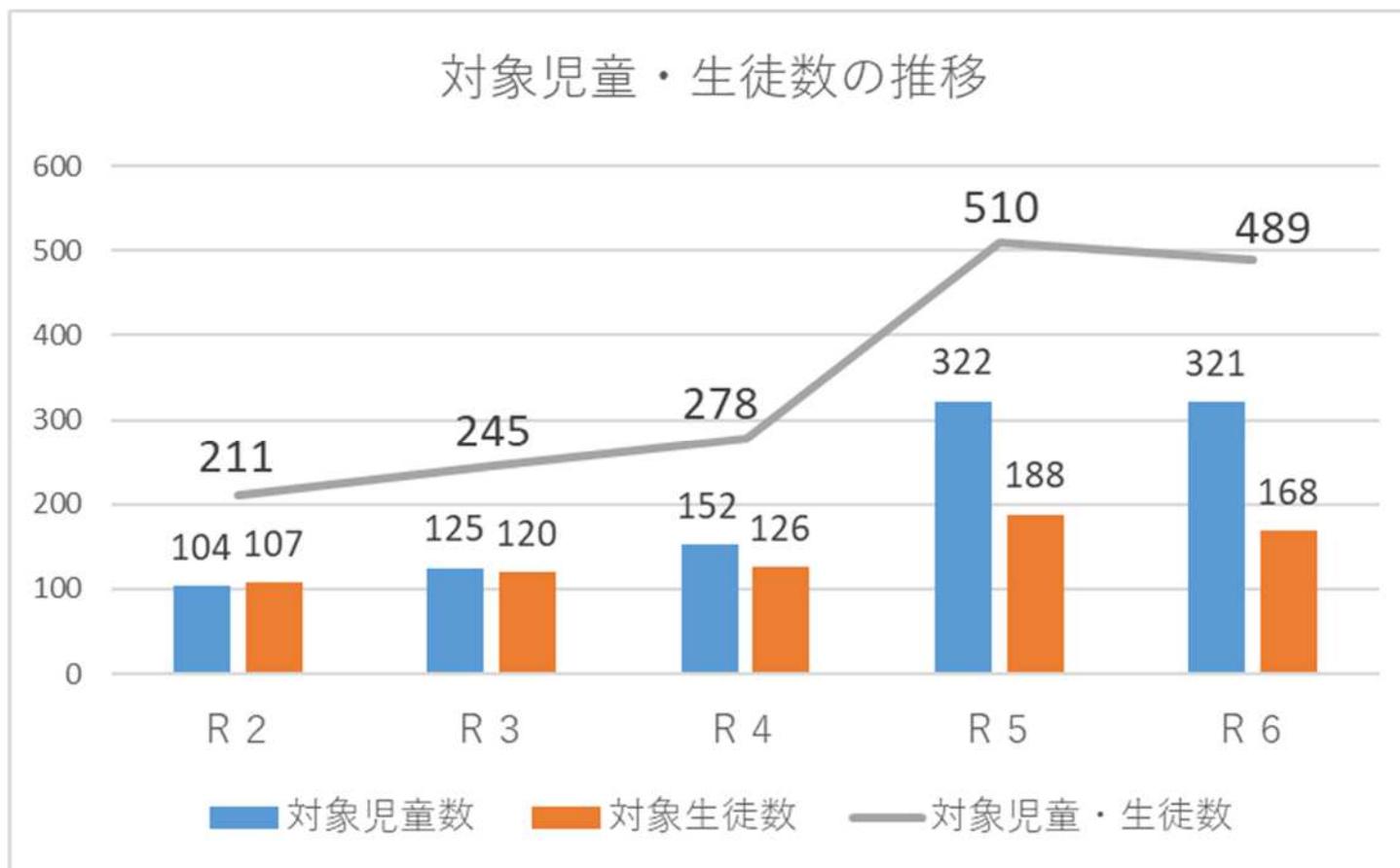
510回

テーマ2 自分らしさ

5

丁寧な相談 (27)スクールソーシャルワーカー等の活用

スクールソーシャルワーカーの活用



テーマ2 自分らしさ

丁寧な相談 (27)スクールソーシャルワーカー等の活用

スクールソーシャルワーカーの活用

組織的な支援体制

- ・情報の共有
- ・支援方針の検討

グループリーダー会議
(月1回)

参加者

- ・グループリーダー
- ・統括指導主事
- ・教育支援係長

グループ内ケース検討
(月2回)

グループ内ケース検討
(月2回)

グループ内ケース検討
(月2回)

テーマ2 自分らしさ

5

丁寧な相談 (27)スクールソーシャルワーカー等の活用

SNS教育相談 対象

- 区立小学校・義務教育学校（前期課程）の5・6年生の児童
- 区立中学校・義務教育学校（後期課程）のすべての生徒

こうとうく

「5to9 マンデーなんでもチャット相談」



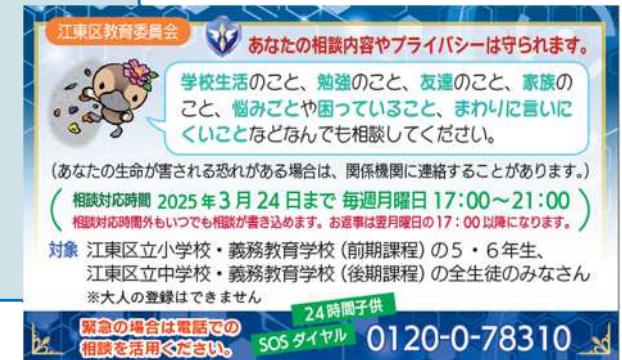
相談対応時間

令和6年4月8日（月）～令和7年3月24日（月） 每週月曜日

※令和6年8月19日（月）から9月2日（月）の期間中は毎日実施

午後5時から午後9時まで

※11月から相談対応時間外でも、相談を書きめるように変更



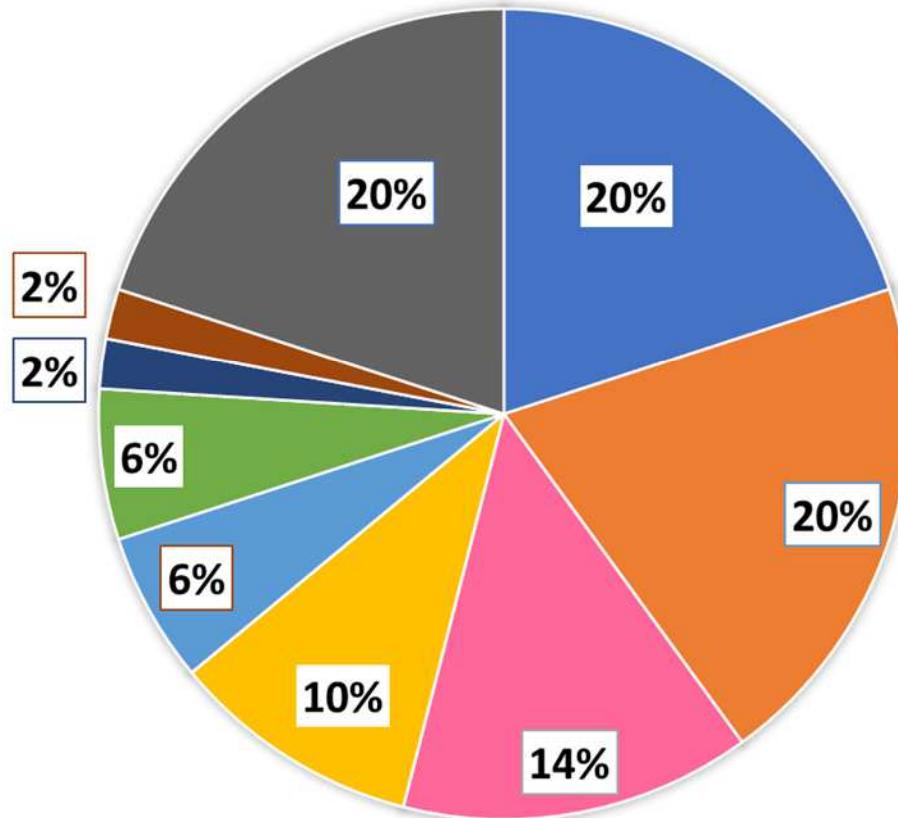
テーマ2 自分らしさ

5

丁寧な相談 (27)スクールソーシャルワーカー等の活用

SNS教育相談

主訴別集計



- 友人関係
- 心身の健康・保健
- 家庭環境
- 教職員との関係
- 不登校
- 学業・進路
- 学校環境
- いじめ問題
- その他

ログイン

ニックネーム
ニックネームを入力してください

パスワード
パスワードを入力してください

ログイン

まだ登録していない方はこちら

相談画面

ご都合の良いときにまた相談してみてくださいね。
こんばんは。「さしお9マンデーなんでもチャット相談」相談員です。
本日はどんなことをお話ししたいですか。
相談中、お呼びしていいお名前やニックネームがあるたら、それもおしゃってください。

こうとうです。友人関係について相談したいです。

こうとうさんですね。よろしくお听いいたします。
友人関係についてのご相談ですね。お話を聞かせてください。

メッセージを入力

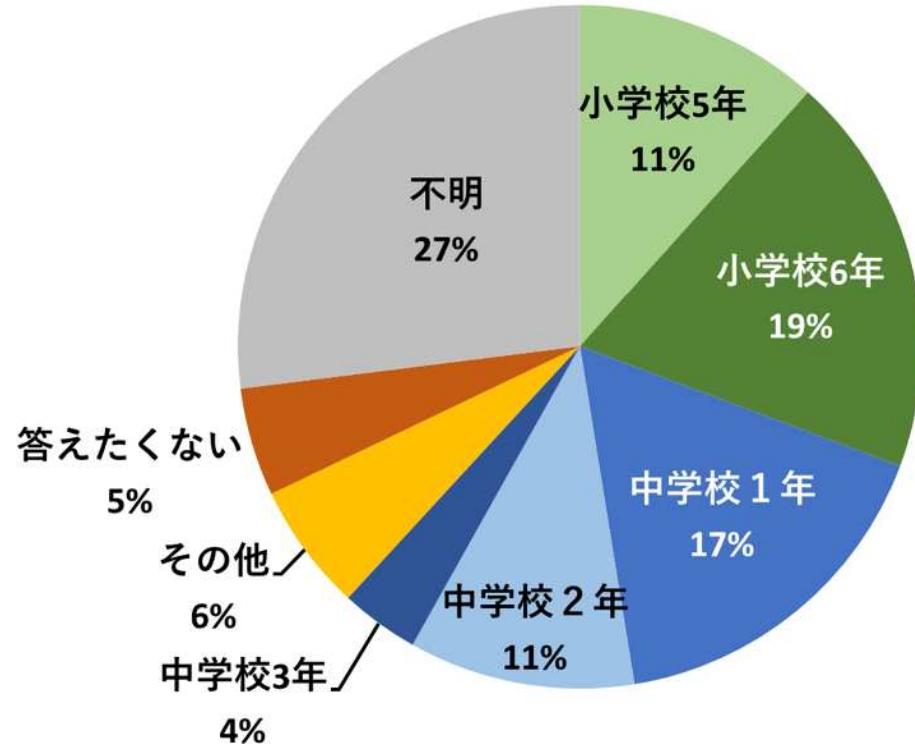
テーマ2 自分らしさ

5

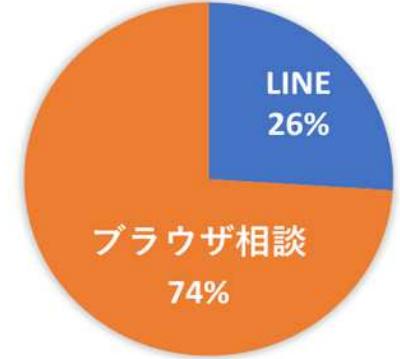
丁寧な相談 (27)スクールソーシャルワーカー等の活用

SNS教育相談

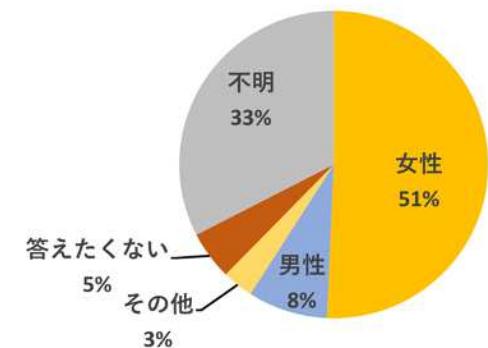
相談者 学年別



登録者 相談端末割合



相談者 性別別



教育センターケース会議

(1) ねらい	・各担当に入ってきた情報を共有、連携や学校への働きかけが必要なケースについて検討する。
(2) 実施日時	・毎週水曜日 9時30分～10時30分【60分間】

【参加関係者】

- * 教育支援課長
- * 指導室指導主事
- * 教育支援課指導主事
- * 特別支援教育係
- * スクールソーシャルワーカー
- * 教育センター電話相談員
- * 教育センター心理相談員
- * ブリッジスクール

- ・情報共有
- ・対応方針の共有
- ・役割分担の明確化
- ・問題解決の迅速化



問題の重複化防止



テーマ2 自分らしさ

5

丁寧な相談 (30)不登校の未然防止

KOTO こどもかがやきプラン

江東区教育委員会事務局指導室

「KOTO こどもかがやきプラン」の理念

江東区のすべてのこどもたちが安心して学び、「みんな、かがやく」ために、目指す姿、充実させる取組を本プランにまとめました。

目指す姿

魅力ある学校風土づくり
～すべてのこどもが「かがやく」～

誰もが「かがやく」学校づくり

- 「やりたい」「できる」がある学校
- ☑ こども主体の取組 等
- ☑ 「安心感」がある学校
- ☑ 多様性・個性を認め合える取組 等
- ☑ 授業が「わかる」学校
- ☑ 授業改革 等

「かがやく」

多様な学びの保障
～こどもが「えらべる」環境づくり～

誰もが安心して学べる環境づくり

- 様々な学習方法を整備
- ☑ オンライン授業 等
- 教室以外の学びの場を整備
- ☑ 校内別室指導支援員・ブリッジスクール

「えらべる」

誰もが「支える」
～こどもを「支える」支援体制づくり～

誰もが支援を受けられる体制づくり

- すべての教職員による連携
- ☑ 個別支援ノート・不登校巡回指導教員 等
- 専門職・関係機関との連携
- ☑ スクールカウンセラー(SC)・フリースクール
スクールソーシャルワーカー(SSW)等

「支える」

「かがやく」 「えらべる」 「支える」

with...～ともに～ こどもを まんなかに

学校 すべての 教職員
専門職 スクールカウンセラー
スクールソーシャル
ワーカー

教育委員会 ブリッジスクール

関係機関
教育センター
フリースクール

家庭

地域

実現させる取組

こども主体の取組

こどもたちの「やりたい」をもとにした取組を推進します。

授業改革

一人一人に応じた学びが実現されるよう、学校全体で授業を改善していきます。

校内教育支援センター

「校内別室指導支援員」を区内の複数校に配置したり、「不登校対応巡回指導教員」による巡回指導を行ったりすることで、校内における別室対応等、こどもたちを支援します。

ブリッジスクール(江東区教育支援センター)

区内に3教室整備し、こどもたち自身が自分に合った学び方で学習したり、体験活動に取り組んだりします。(3教室はこどもたち自身が選ぶことができます。)

ACTION24
～その日のうちに行動！～

大人もこどもも気になることや
悩みがあれば、『その日のうちに』
を心掛け、早く相談や報告をしま
しょう。

個別支援シート

学校を休みがちなこどもたちの状況を「シート」にまとめ、継続して見守ります。

オンライン授業

1人1台端末を活用した
「オンライン授業」で様々な場所での学習を支援します。

SC・SSW

専門職と連携しながら、こどもたちをアセスメントし、支援を充実させます。

フリースクール

フリースクールでの学習状況等を共有するなど、関係機関との連携を図ります。

小学校の教員免許をもった講師の配置（南砂教室）

○小学生の受け入れの強化

- ・遊びを交えた学習
- ・小学生向けの教室環境の整備



今後の方針

● 関係機関との連携強化

- ・専門職同士の情報共有の場の設定

● 不登校児童・生徒への支援

- ・区内全校に校内別室指導支援員を配置
- ・ブリッジスクールでの支援の充実